

平成 26 年度概算要求における宇宙関係予算について（速報値）

平成 26 年度概算要求における宇宙関係予算を取りまとめましたので、お知らせします。

全府省庁総額

- 平成 26 年度 要求額 2,774 億円
 - 平成 26 年度 優先課題推進枠 892 億円
 - 平成 26 年度 概算要求総額 3,666 億円
(対前年度当初予算比 446 億円増 (13.9%増))
- (参考) 平成 25 年度 当初予算 3,219 億円

(内訳)

(単位：億円)

府省名	平成 25 年度 当初予算額 (①)	平成 26 年度			対前年度増▲減 (増▲減比) ④-①
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	
内閣官房	609	546	149	695	+86 (+14.2%)
内閣府	110	93	93	186	+76 (+69.5%)
警察庁	8	8	0	8	▲0.5 (▲6.6%)
総務省	22	21	3	24	+2 (+11.5%)
外務省	2	2	0	2	▲0.1 (▲6.6%)
文部科学省	1,643	1,323	567	1,890	+247 (+15.1%)
農林水産省	2	2	0	2	▲0.1 (▲4.0%)
経済産業省	31	32	33	66	+35 (+112.4%)
国土交通省	94	92	2	94	+0.4 (+0.5%)
環境省	23	9	40	49	+26 (+109.6%)
防衛省	677	646	4	650	▲26 (▲3.8%)
合計	3,219	2,774	892	3,666	+446 (+13.9%)

(係数については、四捨五入によっているので計と符合しないことがある。)

平成26年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,666億円

【内閣官房】	69,470	(+8,618)
● 情報収集衛星関係経費	69,460	(+8,618)
【内閣府】	18,613	(+7,633)
● 衛星系通信ネットワークの整備	394	(+307)
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	9,821	(▲734)
● 広域災害監視衛星ネットワークの開発・整備・運用	8,000	(新規)
【警察庁】	764	(▲54)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	764	(▲54)
【総務省】	2,414	(+248)
○ 準天頂衛星時刻管理系設備の運用	75	(▲4)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,015	(▲48)
● 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	300	(新規)
【外務省】	176	(▲12)
○ 衛星画像判読分析支援	161	(▲12)
○ 宇宙外交推進費	15	(+0)
【文部科学省】	189,028	(+24,743)
● 新型基幹ロケット	7,000	(新規)
● 基幹ロケット高度化	4,696	(+4,079)
● 広域・高分解能観測技術衛星の開発	1,893	(新規)
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	1,090	(新規)
● 赤外センサの研究開発	150	(新規)
● デブリ除去システム技術実証	800	(新規)
● 陸域観測技術衛星「だいち」後継機(ALOS-2)	3,075	(▲1,289)
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	1,967	(+1,773)
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)	6,760	(+4,417)
● 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	12,564	(+2,305)
● 日本実験棟「きぼう」の運用・科学研究等	12,982	(▲644)
○ 宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	23,997	(▲387)
● 宇宙太陽光発電技術の研究	500	(+200)

【農林水産省】	156	(▲7)
○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	26	(±0)
○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用	130	(▲7)
【経済産業省】	6,562	(+3,473)
● 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	3,320	(+3,320)
○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,602	(+72)
○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	621	(▲119)
○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	180	(+53)
○ 太陽光発電無線送受電高効率化の研究開発	250	(新規)
【国土交通省】	9,442	(+44)
● 静止気象衛星業務等	8,391	(+62)
○ 人工衛星の測量分野への利活用	908	(▲8)
○ マルチGNSSによる高精度測位技術の開発	114	(▲6)
【環境省】	4,908	(+2,566)
● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	3,752	(+2,328)
● 衛星による地球環境観測経費	999	(+226)
【防衛省】	65,047	(▲2,605)
● 衛星通信、商用画像衛星の利用等	27,505	(▲2,708)
○ 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	384	(▲736)
○ 弾道ミサイル防衛(BMD)(宇宙関連)	37,149	(+832)

各府省庁予算の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。
●は優先課題推進枠を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

平成26年度概算要求（優先課題推進枠）（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計（優先課題推進枠） 892億円

【内閣官房】	14,916	【経済産業省】	3,320
● 情報収集衛星関係経費の一部	14,916	● 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	3,320
【内閣府】	9,265	【国土交通省】	232
● 衛星系通信ネットワークの整備の一部	265	● 静止気象衛星業務等の一部	232
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用の一部	1,000	【環境省】	3,988
● 広域災害監視衛星ネットワークの開発・整備・運用	8,000	● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等の一部	3,643
【総務省】	300	● 衛星による地球環境観測経費の一部	345
● 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	300	【防衛省】	440
【文部科学省】	56,729	● 衛星通信、商用画像衛星の利用等の一部	440
● 新型基幹ロケットの一部	6,000		
● 基幹ロケット高度化の一部	4,523		
● 広域・高分解能観測技術衛星の開発	1,893		
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	1,090		
● 赤外センサの研究開発の一部	100		
● デブリ除去システム技術実証	800		
● 陸域観測技術衛星「だいち」後継機(ALOS-2)の一部	2,704		
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)の一部	1,827		
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)の一部	5,558		
● 雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイニングレーダ(EarthCARE/CPR)	745		
● 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	12,564		
● 日本実験棟「きぼう」の運用・科学研究等の一部	3,807		
● 宇宙太陽光発電技術の研究	500		

各府省庁予算の単位は百万円。
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。